

2 分野別評価

(1) 学校経営及び学校運営に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 経営方針の明確化とその実践状況	4	<p>・教育目標や重点目標に対して、概ね全教職員が意識して教育活動にあたることができた。</p> <p>・毎月の安全点検だけでなく、日常的に点検・整備を行い、児童の安全を守れるように努めてきた。</p> <p>・避難訓練はできる限り設定に変化を持たせて実践的な訓練となるよう努めたが、知識の更新と訓練の改善が必要である。</p> <p>・「箬蔵職員サイト」の立ち上げにより、連絡事項等の共通理解の効率化が図られ、職朝等の時間を短縮することができた。また、教職員アンケートでは、「仕事の効率化が図られ、働き方改革が進んだ」と肯定的な回答が95.0%であった。</p> <p>・コンプライアンス研修を定期的にだけでなく、折に触れ実施してきた。しかし、自分事として十分に捉えるには一歩及ばなかった。</p>	<p>・授業参観の際には、どの学年もタブレット端末を使用していた。紙媒体とデジタルのよさをそれぞれ生かしてほしい。</p> <p>・フラワーガーデンの規模縮小、高い木の剪定については、今後検討が必要である。</p>	<p>・学校だよりや学年だより、学校ホームページ等で、方針に基づいた具体的な活動事例(授業風景など)を積極的に発信する。</p> <p>・命を守るための避難の仕方等について、最新の情報を得て、避難訓練に生かす。</p> <p>・地域の防災フェスタに参加し、学校と家庭、地域との更なる協働を図る。</p> <p>・「基礎基本の定着」「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」を目指した研修を推進する。</p> <p>・ICTを活用して事前に資料を配布し、会議の定時開始と定時終了を図る。</p> <p>・コンプライアンス研修では、自分事として捉えられるように、講師の招聘、チェックリストや事例研究等具体的な取組を進める。</p>
② 安全管理に対する取組状況	3			
③ 課題への組織的な対応状況	3			
④ 教職員の資質向上に向けた取組状況	4			
⑤ 教職員の健康管理への配慮	4			
⑥ コンプライアンス推進への取組状況	3			
⑦ 業務改善・働き方改革への取組状況	3			
⑧ その他 ( )				

(2) 教育目標及び教育計画に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校教育目標の具現化と実践状況	3	<p>・学校教育目標を受けて、「子どもが輝く」「教職員が支える」「地域とつながる」学校づくりに努めた。</p> <p>・本校ならではの体験や交流学習を計画的に実施でき、「コミュニケーション能力や豊かな心の育成を図ることでできた」と教職員の85%が回答した。</p> <p>・学校行事は、PTAや地域の方々との連携によって改善してきたが、今後の児童数減少により検討すべきものもある。</p>	<p>・体験活動や交流が、予定通りに実施できてよかった。箬蔵ならではの教育活動が子どもたちの心の成長にもつながると感じている。</p> <p>・運動会については地域の行事もあり、10月末に行うのがよいと思うが、今後も検討を要する。</p>	<p>・重点目標の見直しを行い、主体的にその実現に向けて取り組めるようにする。</p> <p>・ナンバーワンスクール、ステップアップスクールともに、今年度の計画を引継ぎ、実践に努める。</p> <p>・児童・教職員数の減少、地域住民の減少や高齢化を鑑み、学校行事の精選や実施時期の見直しを、保護者や地域と連携しながら更に進めていく。</p>
② ナンバーワン・スクール、ステップアップ・スクールの具現化と実践状況	4			
③ 創意ある教育課程の編成と実施状況	3			
④ 学校行事の精選・充実と成果の状況	3			
⑤ その他 ( )				

[ 様式2-2 ]

2 分野別評価 その2

(3) 主要な教育活動に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① わかる授業の実践とその成果の状況	4	・「聴く力」の定着を目指して、全教員が全教育活動で「話の聴き方 あいうえお」に取り組んだ。児童の95.4%が「先生や友達の話をしっかり聴いている」と答えている。	・全国学力・学習状況調査の結果から、国語・算数の基礎的・基本的な内容は身に付いている。 ・様々な行事で来校した際には、挨拶や感謝のこたばを大きな声で言ってくれる。また、本校出身の中学生がバスの乗降時にしっかり挨拶ができています。これまでの教育活動の成果だと思ふ。	・引き続き「聴く力」の定着と、「『箸蔵っ子』5つのちかい」の徹底を図る。 ・毎日の小さなことの積み重ねを大切にする。(凡事徹底) ・タブレット端末を活用し、各授業で振り返りの充実を目指す。また、自己調整学習、自由進度学習について研究する。 ・ミニ保健指導と児童自身による生活習慣の振り返りも継続する。
② 生徒指導の取組とその成果の状況	4	・「『箸蔵っ子』5つのちかい」の「挨拶」「聴くこと」「清掃」「履き物揃え」は、概ね達成できているが、「チャイム着席」については児童自身が課題であると捉えている。		
③ 道徳教育及び人権教育の取組とその成果の状況	3	・年に一度は参観授業で必ず人権学習、道徳科の授業を行っている。また、人権学習で学んだことを人権集会で発表し、発達段階に応じた意識の高まりが見られる。		
④ 健康・安全教育の取組とその成果の状況	3	・養護教諭によるミニ保健指導を身体測定時に行っている。外科的理由による保健室来室者数が昨年度より減少し、児童の90%以上がけが等の初期処置を理解している。		
⑤ 学力向上への取組とその成果の状況	3	・児童の家庭読書と自主学習に対する目標達成度が、どちらも80%程度であった。		
⑥ その他 ( )				

(4) 保護者及び地域との連携等に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 保護者・地域社会への情報発信及び意見収集状況	3	・学校だよりや学級通信の定期発行、および各会合における迅速な情報共有を徹底した。	・ボランティア団体の協力は、本校の教育活動になくてはならないものである。今後も協力できるところは協力していきたい。	・連絡アプリを引き続き利用するが、電話連絡も含め、保護者とのコミュニケーションを図る機会を確保する。
② 地域行事やボランティア活動への参加状況	3	・保護者はPTA活動に協力的であり、運動会後に実施した愛校奉仕作業にも多くの保護者が参加して下さった。	・運動会後に愛校作業を行ったため、保護者の参加が多く、短時間でできてよかった。高所作業については、地元企業の応援をお願いしても良いのではないだろうか。	・近隣校との交流学習やふるさと学習に引き続き取り組む。
③ PTA活動の活性化に向けた取組状況	3	・池田支援学校との交流は、各学年とも計画どおりに実施することができた。		・児童数、PTA戸数が減少するので、PTA規約等を見直し、持続可能なPTA活動となるように協議、運営を行う。
④ 他校や異校種間との交流連携強化への取組状況	4	・生活科、総合的な学習の時間には、地域のボランティア団体や池田高等学校三好校の協力を得て、充実した学習活動を推進することができた。福祉施設との交流も、児童が主体的に計画し実施することができた。		・地域の秋祭りの関係で、運動会を10月末開催とする。
⑤ 地域の人材や外部講師の活用状況	4	・地域や外部団体の方々に、学習活動や環境整備に協力していただいた。		
⑥ その他 ( )				

[ 様式2-3 ]

2 分野別評価 その3

(5) その他に関する評価

評価項目	自己評価	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 教育環境の安全管理及び整備状況	3	・定期の点検や毎日の巡回により、安全な環境を整備できた。また問題があれば早期に対応して対策を講じてきた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの使用については、学校での児童への指導と保護者への啓発が引き続き必要である。</li> <li>・様々な背景をもつ子どもが多いので、それぞれに応じた対応や指導を引き続きお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検、校内の巡回を兼ねた安全管理を継続する。</li> <li>・タブレットの活用は全校で取り組んでいる。情報モラルや使い方のルールを徹底し、AIを活用した学習も進めていく。</li> <li>・毎週1回の「クラスのこと教えてタイム」は、教職員の共通理解の場であり、若手教員の学びの場にもなっている。継続して取り組む。</li> </ul>
② タブレット等, ICT機器の活用状況	3	・毎日、ほぼ毎時間タブレットやICT機器を活用した。また、低学年は週1, 2回、中学年以上は毎日タブレットを持ち帰った。		
③ 特別支援教育の取組状況	4	・アンケートでは、全教職員が「ポジティブ行動支援に積極的に取り組んだ」と回答した。特別支援教育についての専門性を高めていく必要がある。		
④ 指定研究等の取組状況(該当校のみ)				
⑤ 工夫した部活動の実施状況(中学校のみ)				
⑥ その他 ( )				